

発行：東京都港区虎ノ門
2-10-1 虎ノ門ツインビルデ
ィング西棟4階
富士通虎ノ門オフィス内
Mail: icscp@nifty.jp
2014年2月28日(金)No.011

 産応協ニュース [第11号]
スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協) Industry Committee for Super-Computing Promotion

海外利用実態調査委員会報告

1. 欧州訪問調査派遣の実施

- ・調査期間:2014年2月2日(日)~2月11日(火)—10日間—
- ・調査員:産応協メンバー/梅谷企画委員(自工会/トヨタ)、茂本実行委員(東レ)、石田実行委員(住友化学)、高原実行委員(日本電気)
RISTメンバー/塩原室長/木村室長/松本氏 計7名
- ・調査訪問先:HLRS(ドイツ)、AirBus(フランス/ツウルーズ)、CERFACS(フランス)、TERATEC、CCRT(フランス)、Hartree Centre(イギリス/マンチェスター)、PRACE(ベルギー)

2. 国内実態調査

産応協で進めたアンケート調査と同様な調査を創薬分野としてバイオグリッドセンター関西の協力を得て、会員へのアンケートを進めていたが、引き続き、RISTで登録されて、すでに利活用を行っている企業訪問調査を1月中旬(1/21/—23)めどに実施する。さらにアンケート調査、インタビュー/ヒアリング調査とあわせて産応協が実施したアンケート調査結果も踏まえて、全体的に評価分析による報告をまとめることとした。

3. 第3回調査委員会の開催:2014年3月24日開催予定

欧州調査のとりまとめ3月11日に実施する。

スーパーコンピュータ「京」及び HPCI 共用計算資源平成 26 年度利用研究課題募集の選定結果について-「京」の産業利用枠を 1.6 倍に-RIST 発表

スーパーコンピュータ「京」の平成 26 年度利用研究課題募集には 144 件の応募があり、69 件の課題を選定。このうち、産業利用については、昨今の産業界における「京」利用ニーズの高まりにこたえ、配分資源量を 1.6 倍拡大し、35 件の課題を採択。

資源	課題の種類	応募数	採択数	採択率
「京」	「京」一般利用	83	24	28.9%
	「京」若手人材教育利用	19	10	52.6%
	産業利用	42	35	83.3%
	うち「京」産業利用(実証利用)	35	28	80.0%
	うち「京」産業利用(個別利用)	7	7	100.0%
	「京」利用合計	144	69	47.9%
合計(HPCI 共用計算資源含む)		255*	138	54.1%

*「京」以外の HPCI 共用計算資源に申請した課題のうち、53 件については「京」との重複申請。

*「京」以外の HPCI 共用計算資源における産業利用課題は 6 件。

スーパーコンピュータ「京」における産業利用拡大に向けた有償利用課題の「随時」募集を開始します。

スーパーコンピュータ「京」の産業利用課題の応募が年々増加しており、さらなる産業利用を促進を図るため、産業界の要望を踏まえて、これまで原則年 1 回の募集であった個別利用申請(成果を非公開とする有償利用課題の申請)を「随時」受付を開始する。

<個別利用課題の随時募集スケジュール>

- ◆募集要項の掲載 平成 26 年 2 月下旬予定
- ◆課題申請書受付開始 平成 26 年 3 月 3 日予定
- ◆利用開始 平成 26 年 4 月より随時

募集要項等の詳細情報については、HPCI ポータル(<https://hpci-office.jp/>)に掲載予定)

産業利用向けスパコン相談会の開催案内 (RIST 主催)

近年、計算機によるシミュレーションが産業界の様々な分野で活用されております。ものづくり業界では、構造解析、振動解析、流体解析、プレス成形、鋳造、材料設計などのシミュレーションが行われ、実験・試作と組み合わせることで、ものづくりに要する時間・コストの削減や高機能・高品質の製品開発につながっております。創薬などのライフサイエンス分野やビッグデータの解析まで、広範な分野で活用が進んでおります。

ここ数年、公的機関による計算環境が整備されてきており、民間企業が無償又は有償で計算環境を利用できます。自社でコンピュータを導入する前に、シミュレーションの意義や有効性を確認し、本格利用に向けた準備や利用ができます。またシミュレーションの初心者・初級者の方には、利用に際して手厚い支援が行われます。

本相談会では、産業界ユーザが利用可能な「京」を中核とする HPCI の産業利用制度のご紹介をすると共に、シミュレーションに関する個別相談を実施いたします。

個別相談では、会場の一室にて、大規模シミュレーションに関わる技術スタッフが、ご参加の方々のシミュレーションに関する様々な相談に個別に対応いたします。シミュレーション業務で問題をお持ちの方、より大規模・高精度のシミュレーションを実施したい方、また、これからシミュレーションを活用してみたい方、京・HPCI システムの課題応募について個別に相談いたします。

日時: 平成 26 年 3 月 7 日 (金) 13:00~17:00 (受付開始 12:30)

場所: 【[コンベンションルーム AP 秋葉原](#)】 5 階 C ルーム

東京都台東区秋葉原 1-1 秋葉原ビジネスセンター (TEL : 03-5289-9109)

参加費: 無料

プログラム:

13:00-13:30	「京」を中核とする HPCI の産業利用のご紹介 (第 1 部) ※ 産業界ユーザが利用可能な、「京」を中核とする HPCI の産業利用制度応募方法を説明いたします。
13:30-15:00	産業利用相談会 (第 1 部) スパコンのシミュレーションに関するご相談に、会場の一室にて個別対応いたします。 ※ (要事前登録)
15:00-15:30	「京」を中核とする HPCI の産業利用のご紹介 (第 2 部) ※ ※ご紹介内容は (第 1 部) と同じ内容です。
15:30-17:00	産業利用相談会 (第 2 部) ※ご相談対応は (第 1 部) と同様です。

いて相談したい方まで、この機会にお気軽にお申込み下さい。

第 28 回スパコンセミナー開催報告

本年度第 3 回 (通算 28 回) スパコンセミナーは、平成 26 年 2 月 20 日 (木) 午後 1 時から 5 時 15 分まで、機械振興会館地下 3 階 2 号室で行った。

今回は、これまで当協議会におきましても重点化しておりました科学技術分野を超えて、サービス産業に深くかかわる社会科学分野にも大きな影響を与えつつある「ビッグデータ」を取り上げ、HPC 環境下での活用の可能性を探ってみることにした。現在のところ、両者

の関係性が必ずしも密接であるとは認知されていない状況ではありますが、スマートフォンの演算性能が、その用途は全く異なるものの1980年代初めのスーパーコンピュータのそれに匹敵するという客観的事実があり、さらに当協議会がより幅広い産業分野に開かれた存在であるべきことから、周辺状況を含め虚心坦懐に学ぶことを基軸として、これまでの慣習にとらわれない構成とした。一方で、「ビッグデータ」の一般的な用例には必ずしも拘らず、これまでのセミナーを聴講頂いた方にも興味深い内容となっており、近い事例としては、膨大なケースのシミュレーション結果をベースとした効率的な設計開発プロセスについても紹介頂くこととした。

当日参加者は、42名(事前登録47名)で参加者からのアンケート結果は、あらかじめ本分野に関心のある方々の出席であったため、盛況であった回答が多く得られた。

＜実行プログラム概要＞

- 13:00～13:05 開会ご挨拶
- 13:05～13:50 政府におけるオープンデータの推進について
内閣官房 情報通信技術 (IT) 総合戦略室 主幹 早田吉伸
- 13:50～14:35 ビッグデータでプロフィットを生む3つの原則
㈱日立製作所 中央研究所 主管研究長 矢野和男
- 14:35～14:45 休憩
- 14:45～15:30 データマイニング結果の統計的有意性について
産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター 主任研究員 津田宏治
- 15:30～16:15 EBD: Extreme Big Data - ビッグデータとHPCの技術的統合へ向けて
東京工業大学 学術国際情報センター 教授 松岡 聡
- 16:15～17:00 シミュレーション技術を活用した一方向型設計開発プロセスと適用例
(株) I H I 技術開発本部 R&D テクノセンター解析技術部 主査 呉 宏堯
- 17:00～17:05 閉会ご挨拶



今後の予定

- 3/11 欧州調査取りまとめ会議
- 3/12 企画委員会/実行委員会合同会議開催
- 3/25-26 HPC 産業利用スクール実践コース(反応流体)開講
- 3/26 第8回実行委員会開催
- 4/23 第9回企画委員会開催
- 5/8 第14回運営委員会開催

【産応協事務局】

事務局は「虎ノ門」に設けておりますので、お問い合わせをお待ちしております。

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

事務局 滝口、清

電話 03-6435-5425 Email:icscp@nifty.com